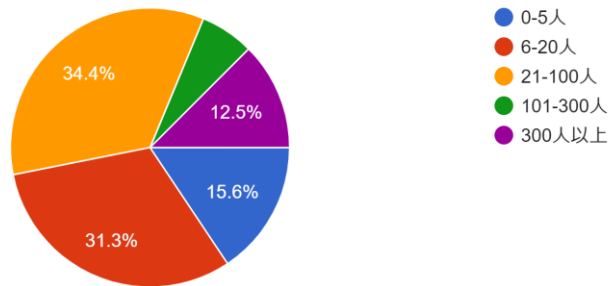


食品部会部会活動に関するアンケート調査結果概要

対象	食品部会部会員	142件
方法	調査票郵送	回答はFAX
調査期間	令和2年9月14日	～9月24日
回答数	34件	回答率24%
従業員数		

従業員数
32件の回答



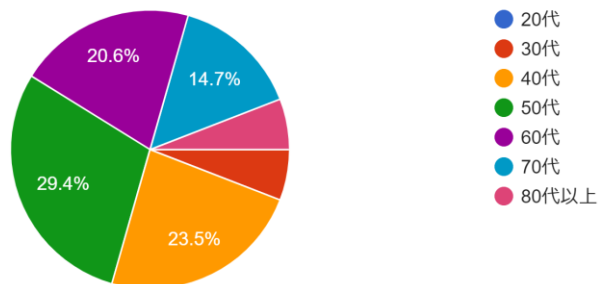
21-100人が最も多く34.4%
次いで6-20人が31.3%
5人以下が15.6%となっている。

経営者の年代

50代が約30%
次いで多いのが40代の23.5%
次が60代の20.6%となっている。
70代以上はおよそ26%にとどまる

⇒比較的若い経営者の年代

経営者年代
34件の回答

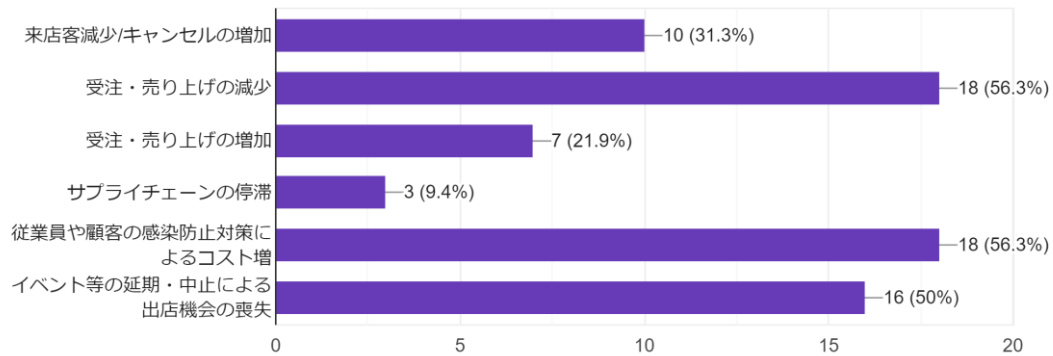


新型コロナウイルスによりどんな影響が出ているか

「受注・売上の減少」と「感染防止対策によるコスト増」がともに56.3%と最も多い。次いで「イベント等の延期・中止による出店機会の喪失」が50%となっている。

1-(1)新型コロナウイルスによりどんな影響が出ているか

32件の回答



売上げ減少の状況

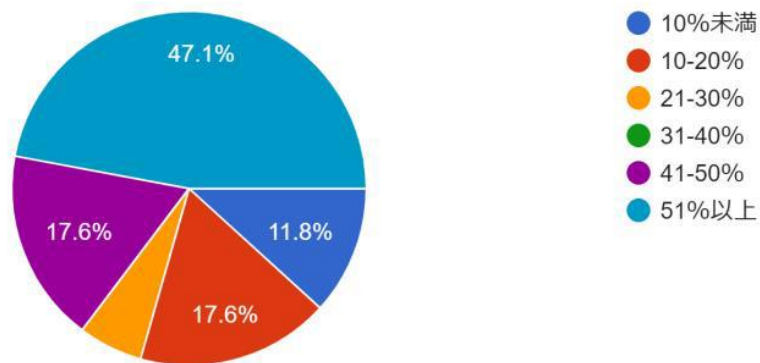
47%が「50%以上減少」

次いで「40%から50%の減」が17.6%。

中には7割から8割減という回答もあり、減少幅は大きい。

受注・売上減少の状況

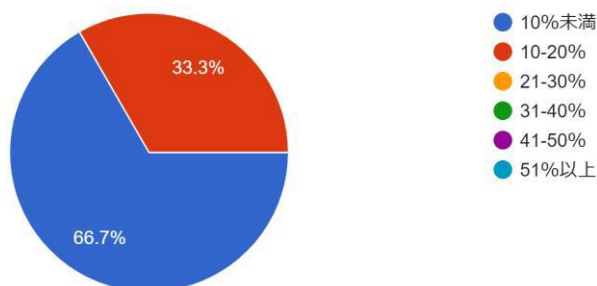
17件の回答



売上増加状況

一方売り上げが増加という回答も6件あったが増加率は10%未満が約7割となっている。

売上・受注増加の状況
6件の回答



対応策

補助金助成金給付金の申請が最も多く51.5%、次に商品サービスの提供方法の見直しが45.5%、新商品・新サービスの開発が30.3%となっており、新たな取り組みに挑戦している姿がうかがえる。

期待する施策

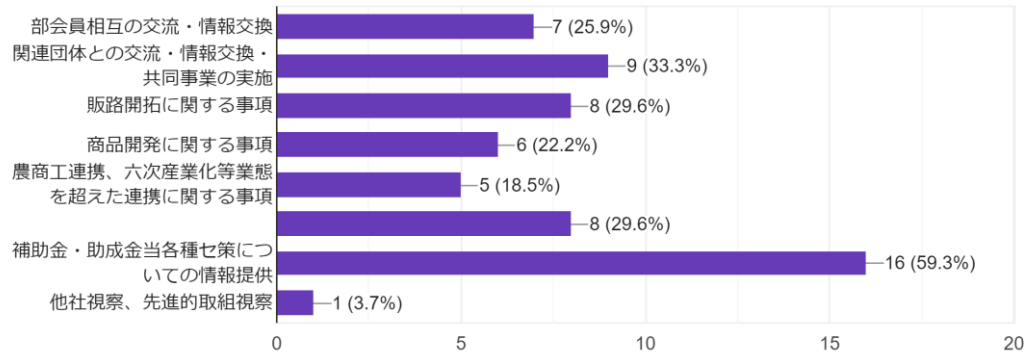
補助金・助成金に加え、法人税事業税の免除などもあげられた。

食品部会として取り組んでほしい事業

「補助金・助成金ほか各種施策の情報提供」が最も多くおよそ60%である。次いで、「関連団体との交流・情報交換・共同事業」が33.3%、「販路開拓」と「HACCPをはじめとした食品製造業界の抱える課題の啓蒙普及」がそれぞれ約30%となっている。

食品部会として取り組んでほしい事業または要望について

27件の回答



上記理由

各種施策の情報不足、売り上げ減少に対応するための新商品開発や販路開拓等の課題を挙げるところが多い。

その他要望

自由記入欄には菓子製造販売会社間のコラボ商品開発や県内外の販促催事への出展支援などがあげられた。

- ①相対的には、補助金・助成金をはじめとした各種施策の情報提供
- ②部会員や関連団体との情報交換
- ③商品開発や展示販売会など販路開拓に向けた取り組み支援などへの期待が寄せられていると思われた。